

放課後等の児童の居場所あり方検討会について

●会議の目的

児童館や学童クラブ、ひのっちを実際に利用されている保護者や、現場で働く職員、事業に従事していただいている方などから幅広くお話を伺い、今後の子どもたちの放課後等の居場所のあり方を考えていく参考とするため。



●話し合うこと

子育て課が担当している、子どもたちの放課後の居場所に関する事業に関して、それらを取り巻く現状や課題を共有し、様々な視点で意見を交わし、子どもたちにとってより安全で安心して過ごせる居場所づくりに向けた意見交換を行う。

- ・学童クラブに関すること
- ・ひのっちに関すること
- ・その他子どもの居場所に関すること



●メンバーと検討会の開催について

学童クラブを利用されている保護者の代表等（5名）、ひのっちのスタッフ（1名）
学童クラブ職員（2名）、児童館館長（2名）、子育て課（6名）

放課後等の児童の居場所あり方検討会 会議一覧

第1回	平成27年6月23日(火)	① 検討会の目的と役割等の確認 ② 放課後の居場所の現状と学童クラブの課題 ③ 学童クラブ適正利用について
第2回	平成27年7月15日(水)	① 子ども達の放課後の姿 ② 学童クラブ適正利用について
第3回	平成27年8月20日(木)	① 学童クラブ適正利用のまとめ ② 学童クラブ費について
第4回	平成27年10月7日(水)	① 学童クラブ出席率の分布・歳出の内訳 ② スーパーひのっち「なつひの」の状況報告 ③ 学童クラブ延長育成について
第5回	平成27年10月27日(火)	① 学童クラブ運営全般について ・平成28年度の学童クラブについて
第6回	平成27年11月24日(火)	① 日野市学童保育連絡協議会について
第7回 予定	平成28年1月13日(水) 平成28年1月20日(水)	① 施設見学

場所：ふれあいホール集会室 1-2 時間：午後7時～午後8時30分

●主な会議の成果

- ① 子どもたちの放課後の居場所の現状と課題について、共通の認識が図れた。
- ② 保育園の時から児童館、学童クラブ、ひのっちを知ってもらうため、就学児健診の際にパンフを配布した。
- ③ 平成28年度に向け、学童クラブ運営の見直しを行った。
 - ・適正利用の運用
 - ・保護者会の際の学童クラブの利用
 - ・三季休業コースの考え方
 - ・延長育成の事務手続きの簡素化
 - ・学童クラブ費の改定についての説明
- ④ 夏ひのっちについての報告と課題の認識

●今後の検討会について

引き続き、月1回程度の検討会を開催し子どもたちの放課後の居場所について利用者、スタッフ、職員の意見交換を行う。



●学童クラブの課題のまとめ

資料2 第1回の検討会でいただいたご意見のまとめ『学童クラブの良い・良くないところ、普段感じているところ、適正利用について』

平成27年7月15日(水)ふれあいホール集会所1-2
第2回放課後の居場所の児童館あり方検討会

<h3>利用について(全般)</h3> <ul style="list-style-type: none"> 暑い事あとも利用できるのはとても助かる 異年齢の交流ができる 他学年の子どもたちとの関わりが広がる(社会性が育つ) 七夕、台風などで、学校が休業になった場合でも学童が開く(他市では閉まっているところも) 学童開館、運動会等学校の振替日でも1日有効がある 学校の保護者会に出にくいという意見があった 学校の保護者会に出るために仕事を休んでいるときは、学童クラブを休ませるのは無理がある。 地区割り、下校ルート等は子どものためを一番考えてほしい 学校と学童クラブが離れているところの安全性と1日の活用 	<h3>三季休業利用</h3> <ul style="list-style-type: none"> 三季利用ができる 4年生から6年生までの三季休業利用がほしい 年度途中の三季が入れない 	<h3>待機児童</h3> <ul style="list-style-type: none"> 待機児童がない 良い点、学童において待機児童がほとんどない 	<h3>入会条件</h3> <ul style="list-style-type: none"> 週2日の就労で入会できる 必要とする子が入会できている 障がい児の受け入れは十分か? 高学年児童をどのように受け入れていくか。全員はふり、優先順位、学童クラブを必要とする児童とは、 入会要件2年生以上18歳未満児童が申し込める。現在、運動部1時間半の15時45分まで勤務。来年度は18時以降勤務へ変更しないといけない 対象児童、高学年、障害児。(特に発達障害) 高学年でも送迎するようにしてほしい 	<h3>延長</h3> <ul style="list-style-type: none"> 民間でも公募でもいいので時間の延長ができればと思う 育成時間、朝の受け入れ時間、夜の退所時間。 延長18時30分までのお迎えが有りというのは、利用しなくても利用しにくい 延長時間が18時30分までなので延ばしてほしい 延長時間の拡大 育成時間のあり方。8時から19時まで?。少ないのでは... 延長育成、料金体系(1日利用の有無、金額設定)
<h3>運営全般、活動内容</h3> <ul style="list-style-type: none"> 公民館等で安定している 公立の児童館、公立の学童クラブがあることが良い 運営スタイル、安定的、継続的運営 親子(て)と保護者交流のつながりを明確に 行事・活動の見直し 施設改善 送迎は徒歩が、外で送迎が少なくない。唯一、学童の駐車場Aへ入るための専工事で送迎できない。雨天・大雪は学童クラブの中心子どもたちは、きょうふで送迎している。少なくていい送迎を願っています。 	<h3>適正利用</h3> <ul style="list-style-type: none"> 家庭に保護者がいるときは預けなくなった 計画的に利用するようになった 出席日数をとても保護者が気にするようになった 『延正報告書』という名前がほしい 分かりやすい。図で表現するなど工夫してほしい 適正な範囲が狭い 延正報告書は厳しすぎるし面倒なので「学童クラブをやめさせた」というお母さんも多い。これで適正じゃあないか? 利用日数を気にしながら利用するのが大変。 学童クラブの職員に聞くと言われてもわからない。図で表現してほしい 説明不足 適正利用は本当に必要? 適正利用にこだわると理由が知りたい 適正利用の意義が伝わっていない 行政と保護者のギャップが大きい 日数チェックが本来の目的になっていない 三季利用の児童が平日ない分や毎日利用しない児童の方は新たな児童を入会させても良いのでは? (待機児童解消のため) 適正化をしても受け入れ人数に影響がなければ意味がないのでは... 途中で待機児童ができた場合は、適正利用をしているのだから入会させるべき 	<h3>学童クラブ費用</h3> <ul style="list-style-type: none"> 1カ月5,000円という費用は大きいです。他市と比べても良いに聞きます。 学童クラブの費用が安い 収支バランスは今後の課題。(学童クラブについて) 	<h3>おやつ</h3> <ul style="list-style-type: none"> ひのっちでのおやつは中食程度でいいと思う。おやつは、衛生面や食中毒の危険性も考慮する必要がある。大幅に増やさないでほしい おやつのある方。70軒への対応。費用負担の適正化。 おやつ内容の見直し(一日の活動、施設見直し) 	
<h3>職員</h3> <ul style="list-style-type: none"> 職員の人数がある程度多いので、増やかにも見ることができる 子どもの特徴を見つけているので集団での様子がわかる 職員がいることの安心 職員体制(女性が多い子どもの性格) 学童職員と子どもの関係性(子どもにとってわかりやすい) 子どもの理解(児童の理解)に熱心である 	<h3>ひのっち</h3> <ul style="list-style-type: none"> ひのっちと連携している 子どもが自分の居場所を選択できる喜びがある 学童からひのっちに来る児童、良い思いをする。良い思いをする。良い思いをする。良い思いをする。 学童からひのっちに遊びに来る児童が多い。1年生は一日10人以上。高学年は1日10人以上。23年生を入れると取戻さなくていい... 保護者が働いていても利用できることを知らなかった ひのっちのことをもっと早く知っていたら学童クラブでなくても良い人はいらぬと思う 小学校に入るまで、ひのっちのことを知らなかった 	<h3>子どもの気持ち</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●ひのっちで遊びたい! 学童以外の子どもで遊びたい! でも親に学童クラブに行かないとダメって言われちゃう! ●学童クラブはおやつがあるからいいな~ 	<h3>親の気持ち</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●日によって変わる子どもの意見を尊重できない。(ひのっちで遊びたい! 学童以外の子どもで遊びたい! など) ●継続して学童クラブを利用することで、子どもは安心できるのかな?。適正利用で継続できないかな? ●学童クラブ、ひのっち、児童館の情報をわかりやすく知らせてほしい。 ●保育園在園の時から子どもたちの放課後事業の情報を集める余裕がないかな? 	